

今月号の主な内容

- えちご川口農業振興公社設立… 2～3
- みんなで市町村合併を考えよう… 4～6
- フォトコンテスト審査結果発表… 7
- かわぐち町民フォーラムのおしらせ… 8
- 交通安全総点検を実施しました… 10
- 地域づくり交流会のおしらせ… 11

ほか

かわぐち歴史探訪 ⑧

生涯を看護に捧げた山田タフ



▲写真はナイチンゲール記章を胸にした山田タフと賞状

昭和二十八年、川口出身の山田タフさん（発音は「とう」）がナイチンゲール賞を受賞した。山田さんは明治十九年生まれで、東京芝の日本赤十字社で皇后陛下にナイチンゲール記章を胸に付けていただいた当時はすでに六十七歳であった。山田さんは中新田の山田基さんのおばさんに当たり、津右衛門二女として生まれ北魚沼郡立西川口尋常小学校を卒業した。その後、東京帝大医科大学附属医院普通看護法講習科を出て、同青山内科に勤めた。以後四十六年間看護婦を務めることとなった。

大正五年、東北帝大附属医院ができた時に乞われて仙台へ。大正七年には看護婦長になった。受賞当時は東北大学医学部附属病院看護学生寄宿舎舎監であった。昭和二十八年、川口小学校ではこの快挙を見事に紹介し山田先輩を讃えたという。記念の花瓶があったと伝えられている。現在、長岡赤十字病院の岡村医師（岩出原出身）は、東北大学医学部で学んでいたときに、「山田婦長を知っているか」と尋ねられたとのことで、相当有名な方であったと言う。山田家ではタフさんを小千谷へ分家に出し、養女を迎えており、晩年は魚沼病院に入院し八十二歳で亡くなられた。人生を看護一筋に尽くされ、一生を独身で通したとのことで明治の女性らしい生涯であった。

あとがき

▼早いものでもう11月。今年も残り2か月となってしまいました。特に広報を担当していると、1年経つのは、あっという間のよう感じます。▼先月、「朝晩すっかり涼しくなり…」と書いたばかりなのに、最近では、朝晩めっきり冷えて布団から脱出しにくい季節となりました。10月29日には初雪も観測されて、冬の到来をひしひしと感じる今日この頃です。



「それっ、とんでけ～!!」「ナイスショット!!」

10月14日の「体育の日」、キャンパス川口野球場において、スポーツフェスティバルとしてグランドゴルフ大会が開催されました。赤とんぼが飛び交う秋晴れの下、好プレーや珍プレーが続出。笑い声の絶えない1日となりました。

「株えちご川口農業振興公社」を設立！ 農業構造改革が実践段階に

農業が輝くまちを目標として

10月8日、「杜のかたらい」において、県や町、農業団体などの関係者が出席して、(株)えちご川口農業振興公社の設立記念式典が行われました。この公社は、農業構造改革の中核組織として、農家のみなさんの生産活動をさまざまな面で支援し、「農業が輝くまち」を実現することを目的としています。

今月号は特集として、公社の設立の趣旨や目的、川口町の農業がどのように変わっていくのかをお知らせします。



▲農業振興と交流機能の連携を強化します

これまでの川口町の農業は…

近年、過疎化、高齢化に伴う後継者不足や輸入作物の増大における市場の低迷など、農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。

その中で川口町は、「魚沼産コシヒカリ」という全国一のブランド米の産地であることに加え、スイカ、えのき茸など地域特産品の安定生産に向け努力してきました。

しかし、農家全体の89%を第2種兼業農家が占める中で、担い手不足や米依存型農業、農作物の換金システムの不備、農作物加工部門における立ち遅れなどが、大きな課題として浮き彫りになってきました。

農業構造改革と公社

このような農業における課題を打破するためには

- ① 系統出荷・身近な作物の販売の構築
- ② 集落単位の営農システムの確立

- ③ 各地区の特色を生かした経営体系の確立
 - ④ 地産地消で安全な食の提供と町内経済の循環
 - ⑤ 農業振興と交流機能の連携を強化
 - ⑥ 川口町来訪者に町内産品の購入を通して生産の拡大と地域との交流の拡大
- などを図る必要があります。
- そのためには、町、JA等各種関連団体の支援の届かないところをカバーし、農業構造改革の中心的な役割を果たす組織、つまり「公社」の存在が必要なのです。

交流を生かした地域農業

このように、(株)えちご川口農業振興公社は、個性と活力ある町づくりに寄与することを目的として、新たな仕組みを構築するという重責を担う組織として設立されました。川口町の農業における生産から販売まで、さらに交流事業とを総合的に組み合わせ、地域における最大の所得確保と地域農業の発展に向けて公社の役割が大いに期待されています。

株えちご川口農業振興公社



▲代表取締役社長に就任した星野町長



▲直売・直販による換金化を図ります

公社設立に期待します！

「公社に期待すること」

星野 良治さん(相川)



川口町の振興は農業なくしてあり得ない。公社にはその中心的組織として役割を果たしてほしい。また、土地の流動化が進む現在、大規模なほ場整備をしなくても、小規模でも済むシステム、運営の仕方に期待しています。

「農作物の消費促進を」

関 富雄さん(西倉)



公社には、農作物の消費促進の役割を果たしてほしい。規格のいい農作物は「川口ブランド」に、規格の悪いものでも加工用にと、換金できるシステムを確立できるように期待しています。

株えちご川口農業振興公社の概要

公社は、町とJAの出資・支援、関係機関との連携によって、株式会社として組織されます。

農業振興事業部

- ① 集落営農の推進
集落営農組織結成・強化に向けて各種活動及び農作業の共同化、機械の共同利用を応援します。
- ② 農地の有効活用
農地情報の提供、農地賃貸の斡旋調整、農地の集約化など農地の有効活用と経営規模の拡大を応援します。
- ③ 担い手の確保・育成
農家の規模に応じて、農地・農作業の斡旋や新規作物栽培指導を行います。
- ④ 生産支援
援農者・機械運転手の派遣を行う一方、直売・直販による農作物の換金化や小規模農家・高齢者などを応援します。
- ⑤ 農業機械施設の有効活用
農業機械の貸借意向を調査し、各農家が保有する機械を有効活用します。また、新規貸出機械を整備します。
- ⑥ 安全・安心な農業の推進
直売施設の整備や特定販売先の

- 開拓、栽培方法の統一による「川口ブランド」の農作物づくりを応援します。
- ⑦ 土地改良事務ほか
土地改良事務の受託や、農家の許認可申請事務などの指導・助言を行います。

交流促進事業部

キャンパス川口における交流施設の管理運営業務を町から受託することにより、農業の融合と民間発想を持った経営によるきめ細かなサービスを実現します。

役員構成

- 代表取締役社長 星野 和久
 取締役副社長 川口町長
 取締役 JA川口町組合長 綱 富兵
 取締役 川口町助役 内山 敦夫
 JA川口町専務 米山 文男
 公社設立準備室 高橋 正一
 監査役 川口町総務課長 桜井 誠一
 JA川口町管理課長 樋口ナオ子
 住所 新潟県北魚沼郡川口町大字 中山2515番地2
 ☎ 89-3464 (FAX同)

川口町の大切な未来のために…

みんなので市町村合併をきくえよう

PART 3

集落別懇談会が終了

町では、合併問題について、さらなる情報提供を図るため、9月5日から10月29日まで全33会場で集落別懇談会を開催し、延べ500人以上の住民の皆さんから参加をいただきました。



今回の懇談会では、合併のメリットやデメリットの他、16項目にわたる当町と小千谷市の行財政比較についての資料などを提示し説明を行いました。参加者からは、「交付税が削減されたら町の財政は大丈夫なのか?」「合併すると行政サービスは低下するのか?」など、町の将来について不安の声が多く聞かれました。

住民意向調査を実施

今後は、県が示した小千谷市との合併の是非を含めて合併問題に対する町民の皆さんの意向を把握するため、11月に全世帯を対象にした住民意向調査を行います。

合併特例法の期限(17年3月31日)が迫る中で早急な対応も求められています。町では、この調査結果と周辺市町村の動向を見極めながら、年内をメドに合併問題に対して一定の方向を示したいと考えていますので、意向調査について町民の皆さんのご協力をお願いします。なお、調査結果は、後日広報等で公表する予定です。

集落別懇談会での意見をまとめました

財政関係について
・ 地方交付税削減という話を聞くが、交付税が削減されると川口町は財政的に大丈夫なのか心配だ。
・ 合併は国の財政状況の悪化によるもので、合併しても、しなくても交付税は減らされる。
・ 川口町には過疎債があるので我慢してがんばってはどうか。
・ 財政はよくなるわけではない。
・ あまり町の財政が悪くならないうちに合併するのによいのではないか。
・ 合併のメリットの財政支援も殆どが借金だ。交付税が減らされたときに、税金が高くなるのではないか心配だ。
・ 合併しないならば、やっていけるよう町の財政的努力は必要だと思ふ。
・ 今後の財政面を考えると、国や県の方針に従って合併した方が

行政サービスについて

・ 合併してもよくなるかと思ふが、現状維持でサービスが低下しなければよい。
・ 合併すると、不便を感じることも多くなると思ふ。
・ 合併して、今の川口町の水準より悪くならないか心配だ。
・ 合併すると、きめ細かい行政サービスができなくなるのではないか。
・ 川口町のよい面もあるが、小千谷のよい面もあるので、どっちが有利なのかよくわからない。合

賛否両論を展開 市町村合併を考える講演会パート2

10月13日、生涯学習センターにおいて、市町村合併について推進派、慎重派の立場から2人の講師を招いて、講演会を開催しました。

合併推進派の立場からは、県市町村合併支援課 関谷政友課長補佐が「どうして今合併なのか」と題し「市町村合併は、まちづくりの手段の1つである。17年3月末までに合併すると合併特例債で125億円の支援を受けられる。今後、地方交付税が減っていく中で広域的なまちづくりを進めた方がメリットは大きいのではないか。」と講演しました。



▲県合併支援課 関谷政友補佐

りは
るのか
森啓氏



▲北海学園大学 森 啓 教授

これに対し、北海学園大学 森啓教授が「合併でまちづくりはできるのか」と題し、「合併特例債は、3割は返さなくてはいけない大きな借金である。広域的なまちづくりと言っても中心市街地ばかりのまちづくりが進んで周辺がさびれてしまった市町村が多い。結局住民に大きな負担が残る。今は各市町村が、工夫しながらまちづくりを進めた方が得策」と合併慎重派の立場から講演。
質疑応答では、講師の2人に対し、さまざまな質問が相次ぎ、参加者にとって大きな判断材料となる講演会となりました。

併すると、小千谷市に行かなければ用が足りなくなる場合が多く出てくると思ふ。

●合併全般について

- ・ 合併に対する町の姿勢を示してほしい。
- ・ 合併して良くなることも悪くなることもある。個人の考え方も違うのでどっちが得かわからない。国や県の方針に従って安易に合併するべきではない。
- ・ 今より少しでもよくなる合併であれば賛成だが、少しでも悪くなるようであれば反対だ。
- ・ メリット・デメリットだけの合併は、結果として人間的なつながりや昔からの伝統、文化などが失われてしまうのでは。
- ・ 合併しなくてもなんとかやっていけるのであれば、無理に合併しないで現状維持が望ましい。
- ・ 合併する必要があるようになった時点で合併すればいい。
- ・ 合併しないと取り残されてしまうのではないか心配だ。
- ・ 合併すると益々人口減が早まると思ふ。
- ・ 国は、中山間地への合併に対する配慮がない。
- ・ 合併した場合、「魚沼コシヒカ

り」の名前がどうなるか心配だ。

●合併の相手について

- ・ 小千谷市との合併にメリットはない。自主性が失われる。
- ・ 小千谷市との合併は吸収合併。吸収合併は望まない。
- ・ 小千谷市の雰囲気、議会の動き等も判断材料になるので情報提示してほしい。
- ・ 川口町は北魚沼なのに、北魚沼6町村と合併しなくてよいのか。
- ・ 小千谷市・川口町のように大小は不利。小国町や山古志村を含めて対等合併の形にしてはどうか。
- ・ 小千谷市との合併では人口が少なすぎる。メリットがない。
- ・ 合併するとしたら、将来は長岡市ではないか。
- ・ 今の段階から合併の可能性のある市町村を視野に入れて考えていく必要があるのではないか。





最優秀賞 根津義広「雪洞ショップ」



町長賞 小林恵美子「いい日立ち〜木沢から〜」



審査する山田さんと星野町長



優秀賞 井上宗昭「天女の里」(上)
優秀賞 原健一「カーニバル」(右)



あなたの感性をパチリ！ 第5回フォトコンテスト入賞作品が決定

川口町の美しい自然と催事をテーマに作品を募集した「第5回川口町フォトコンテスト」。町内外の写真愛好家から計173点にも及び応募があり、審査員の日本写真家協会会員・新潟県写真家協会会員の山田昌男さんと星野町長による厳正な審査の結果、最優秀賞は根津義広さん(十日町市)、町長賞は小林恵美子さん(木沢)に決定しました。

入賞者一覧(敬称略)

- ▼最優秀賞 根津義広(十日町市)「雪洞ショップ」
- ▼町長賞 小林恵美子(木沢)「いい日立ち〜木沢から〜」
- ▼優秀賞 原健一(吉田町)「カーニバル」、井上宗昭(大和町)「天女の里」

- ▼特別賞 山岸守二(川西町)「女みこし」
- ▼富士フィルム賞 長谷川義男(長岡市)「若い人」
- ▼フジカラー賞 早川昭雄(長岡市)「おいしいー」
- ▼新潟日報社賞 相田保(三条市)「武道窪の面々」
- ▼入選 田中真治(十日町市)「たいまつ御輿」、小幡トミエ(長岡市)「実のり」、樋口健一(三条市)「行け!」、津野文夫(新潟市)「火蜃広場」、滝沢晴夫(小出町)「女衆、出番前II」、伊藤周平(三条市)「フィナーレ」、中林愛一郎(川口6)「ここまでおいで」、大塚明(守門村)「一息入れて」、岡村行雄(西川口)「おはやし」、和田フサ子(小千谷市)「暮色」、大野義和(見附市)「祭りの楽しい思い出」、岡安平作(埼玉県)「こら、まてー」、和久井勝三郎(新津市)「清流に遊ぶ」、星榮五郎(広神村)「怪鳥」、小野美智子(埼玉県)「一休み」

※なお、入賞作品及び応募作品は、11月3、4日の「えちこかわぐち物語 秋まつり」において展示されます。

川口町と小千谷市の 行財政状況の比較データをお知らせします

広報では、9月号からシリーズで当町と合併パターンで示された小千谷市との行財政状況についての比較データをお知らせしています。3回目となる今回は、民生・福祉部門、医療・衛生部門についてお知らせします。

☆ 民生・福祉

平成14年4月1日現在

市町村名	生活保護(級地区分)				民生(児童)委員				高齢者福祉(老人ホーム)	
	2級地		3級地		定数(人)	うち民生委員	うち主任児童委員	協議会数	施設数	定員(人)
	1	2	1	2						
川口町				○	16	15	1	1	1	70
小千谷市			○		77	69	8	5	2	130

市町村名	児童(母子)福祉						保育料の軽減状況(同時入所の場合)
	保育所		保育料(円)				
	所数	定員(人)	3歳未満児		3歳(以上)児		
川口町	4	210	所得税4万円	所得税14万円	所得税4万円	所得税14万円	第2子半額
小千谷市	13	970	30,000	42,500	26,000	30,000	第2子半額、第3子以降無料

注1) 小千谷市は、保育所13か所の他、幼稚園が3か所あります。
 注2) 保育料は国の徴収基準を参考にそれぞれの市町村で算定されています。表では保護者の前年度分の所得合計額が4万円及び14万円納めている場合の数値が示されています。
 なお、当町の保育料は所得税等により11段階、小千谷市は9段階に区分されています。

☆ 医療・衛生

平成14年4月1日現在

市町村名	医療施設数		ごみ処理	ごみ処理				
	病院	診療所		生ごみ処理装置支援			家庭ごみの有料化	
				分別数	コンポスト	ボカシ		電動
川口町	0	4	6	○	○	○	○	定額制
小千谷市	3	48	6	○	○	○		

注3) 当町の生ごみ処理容器補助制度は、各種処理容器の購入費の一部を補助しています。(1万円まで…50%補助(限度額3千円)、1万円以上…30%補助(限度額2万円))
 注4) 家庭ごみの有料化について、当町では一般廃棄物処理手数料として、6か月ごとに940円を全世帯から徴収しています。

私がおたしらしく生きるために…

男女が共に歩む町づくりに向けてフォーラムを開催します

「男のこゝ、女のこゝ…」
とつぶやいていませんか？

男女共同参画社会基本法が施行され、あらゆる職種への女性の進出、男女の育児休暇・介護休暇の取得推進が進められ、少しずつですが、誰もが自分らしく生きられる社会に向けて動いています。町でも平成12年3月に「かわぐち男女共同参画プラン」を策定し、推進しているところですが、まだ私たちの意識の中には、「女だから・男だから」といった性別役割分担意識や古いしきたりにとらわれて、自分自身の生き方を狭めてしまっているところが多くあります。

町では、町民の皆さんが、このような固定観念にとらわれず自分らしく生きるための指針として、このたび神津カンナさんを迎え、男女が共に歩む町づくりに向けてフォーラムを開催します。家庭・地域・学校からジェンダーをなくすにはどうしたらよいか、みんな考えてみませんか？

かわぐち町民フォーラム「男女が共にあゆむ町づくりに向けて」

日時 11月17日(日) 開演13:00 (開場12:30)

会場 交流体験館「杜のかたらい」

基調講演 (13:00~14:20)

テーマ 「大切なものがわかれば変えられる」

講師 神津カンナ (作家)

プロフィール

1977年東洋英和女学院高等部卒業。同年9月サラローレンスカレッジに入学。21世紀は環境と高齢化社会をぬきにしては迎えられないと持論を展開し多方面で活躍。作家活動の傍ら「総務庁青少年問題審議会委員」、学校法人「ねむの木学園」理事他多数の委員を務める。主な著書に「親離れするとき読む本」「いま、自分探しの季節」「仕事美人は生き方上手」等多数。

パネルディスカッション (14:30~15:45)

テーマ 「私がおたしらしく生きるために」

コーディネーター 大河内芳子

パネリスト 福島秋子/近藤尚子/星野和久

助言・講評 神津カンナ



保育ルームもあります。ご希望の方は下記までお申込みください。
総務課 ☎89-3111
教育委員会 ☎89-2119



在宅介護支援センター 専用玄関ができました

在宅介護支援センターは、高齢者等の相談窓口として、町民の皆さまからご利用いただけてきましたが、より利用者の利便性を図るため、新たに事務室の正面に玄関を設置しました。車いすの方も利用しやすいようにスロープとなっています。

職員は保健師、看護師、介護福祉士の3名です。高齢者等の相談など気楽にお越しください。
また、職員がご自宅に伺い、相談を受けることもできますので、お気軽にご連絡ください。
連絡先 ☎ 89-3974



アイデアを出し合って、魅力ある講座を計画しています

みんなが楽しく学べるために…

「かわぐち学びの里大学」来年度事業計画を進めています

6月から新任を加え、新たに27名の委員でスタートした生涯学習推進協議会。現在、来年度の「かわぐち学びの里大学」の講座内容について企画会議を進めています。

「みんなが楽しく学べることって何だろう?」「楽しい講座を企画したいね」そんな声が聞こえた各専門部のようすをご紹介します。

「こんなことをみんなで学びたい」 事業計画が着々と進んでいます

生涯学習推進協議会は、A~Eの5つの専門部に分かれ、「かわぐち学びの里大学」の講座を1つずつ担当しています。それぞれの専門部のメンバーと事業計画の状況をのぞいて見ましょう。

(敬称略) ◎は専門部長

ふるさと川口塾 (専門部A)

◎井浦 豊、星野 浩、山田哲夫、小林利一、渡辺智恵子
この講座では、私たちのふるさとである川口町を学びます。自然や歴史、文化などをテーマにさまざまな学習が行われてきました。来年度は「祭」がテーマ。にぎやかな講座になりそうです。

長寿塾 (専門部B)

◎広井伸昭、関 哲雄、関 博之、関 園子、関 友枝
この講座は、高齢者を対象としています。毎年参加者が多く、人気のある講座ですが、来年度も参

加しやすく楽しい講座にと、さまざまなアイデアが出されています。

ボランティア実践講座(専門部C)

◎小林由美子、生越里江子、真島靖子、関 邦彦、星野正美、石坂孝一
この講座は、昨年度から「杜のかたらい」の花壇整備をしてきました。来年度も多くボランティア参加者を募って、引き続き花壇を整備する予定です。

家庭教育学級(専門部D)

◎内藤明子、星野ゆみ子、関 裕子、平沢弘子、大淵憲子
この講座は、子育ての悩みや問題点について学ぶ講座です。来年度は、話し合いや交流を多く交えた内容にして、保護者が参加しやすい講座づくりを目指しています。

福祉のまちづくりセミナー(専門部E)

◎星野隆一、小林美恵子、吉原裕子、丸山明子、鈴木幸子、森山雅義
この講座は、フラワーロード作りを通して、暮らしやすい地域づくりと地域の人たちとの交流の場づくりを行っています。
来年度も引き続き、各地域のフ

4月に受講者を募集します

このように、委員の皆さんが計画している各種事業は、来年4月に、学びの里大学の受講案内で参加者を募集します。ぜひ、多くの皆さんからの受講をお待ちしています。

推進協議会役員が決まりました

9月25日、第1回推進協議会において、左記のとおり役員が選任されました。



副会長
関 博之さん
(新敷)



副会長
鈴木幸子さん
(相川1)



会長
森山雅義さん
(田中)



中山地区での集落夢づくり事業の取組み

12月8日

「地域づくり交流会」を開催

みなで創る地域の夢…あなたの想いを地域づくりに

町では、みんなの力をあわせたまちづくりを推進するため、町民が行政に参画できる仕組みとして、平成11年度「21世紀のまちづくり戦略会議」をスタートさせました。平成13年度からは、そこから生まれた「集落夢づくり事業」で魅力ある集落づくりについての支援体制も確立され、現在4集落で取組みが始まるなど、まちづくりの機運が芽生えてきています。

このような中、みんなが自分たちの住む「まち」や「地域」への想い、愛着、共感による横のつながりを広げ、そこからお互いの「まちづくり」「地域づくり」の将来の夢について自由に語り合える場としての「地域づくり交流会」を開催します。

すでに地域づくり活動を行っている人や団体の皆さん、地域づくり活動を始めたばかりの人、地域づくりに悩んでいる人、迷っている人。そんな仲間の交流の場としたいと思いますので、多数の皆さんの参加をお待ちしています。

開催要項

- ★テーマは? 「みなで創る地域の夢…あなたの想いを地域づくりに」
- ★開催日時? 平成14年12月8日(日) 13:30~18:00まで(予定)
- ★会場は? 交流体験館「杜のかたらい」
- ★参加対象は? 地域づくり活動を行っている団体や個人など地域づくりに関心のある方ならどなたでも。
- ★内容は?

1 まちづくりワークショップ

- ①まちづくりのお話(事例を通して)…地域づくりアドバイザー 浅野ゆうこさん(中山地区集落夢づくりアドバイザー)
- ②ワークショップ
3つのテーマを決め、まちづくりについて参加者が自由に意見交換を行い、みんなの想いをまとめあげ、交流会の提言とします。

2 地域の茶の間(交流パーティー)&手前みそ発表会

- ①地域の食などを持ち寄り、参加者みんなでとことん想いを語り合います。
- ②手前みそ発表会…地域づくりに携わる参加団体の紹介をします。

3 21世紀のまちづくり戦略会議や集落夢づくり事業その他の地域づくり団体等についての情報コーナー

★申込み・問い合わせは? 企画商工課 ☎ 89-3112



[主催:川口町/主管:21世紀のまちづくり戦略会議専門部会]



10月1日台風で雨の降る中、「交通弱者が安心して歩ける歩行空間について」をテーマに第4回交通安全総点検を行いました。参加者94名(うち川口小学校6年生33名)が、それぞれ中山・野田・和南津の3コースに分かれ、歩道の段差や幅、見通しなどを高齢者や障害者、子どもたちのそれぞれの立場で点検しました。

中山・野田・和南津地区で交通安全総点検を実施

思いやりのある歩行空間をめざして…

川口小学校の皆さんに感想をお聞きました

◆中山コース

6年 金子 洋明さん

アイマスクを付けて歩くのが音が頼りになり、とても不安になりました。道路のちよつとしたデコボコや段差が気になり、とても不安でした。誰もが安心して歩ける道にするのは大変かもしれないけれど、この町に住む皆さんが真剣に考えていかなければならないと感じました。とてもいい経験になりました。

◆野田コース

6年 横田 岳さん

ぼくは東川口に住んでいるので、野田の道を歩くのは初めてでした。場所によって道の感じがずいぶん違つように感じました。アイマスクをしたり、杖をついたりして歩きました。自分たちが住んでいる地域の道が小さい子や体の不自由な人たちにとって歩きやすい道かどうか調べながら歩きました。

過去の指摘箇所における改善点

第3回(平成13年度)

小高地区の町道の舗装修繕を実施しました。



このように、皆さんから寄せられた意見をもとに少しずつですが改善工事を行っています。また、工事だけではなく、参加した子どもたちの心に思いやりの心が芽生える成果も出てきているようです。

た。住んでいる人たちの声で道路が改善されていくなんて、すごいと思いました。

◆和南津コース

6年 吉原有佳理さん

私は、和南津地区の道路を歩きました。雨の中、「歩行者にやさしい道」という視点で、調査しました。気をつけて見ると、車が見えにくい交差点があったり、木が伸びていて道が狭くなったりして、いるところがありませんでした。ふだんなにげなく通っている道でも、たくさんの人たちが「みんなにやさしい道」ということで、努力して

いることを知りました。これからは、今まで以上に「道路」を大切にしていきたいと思っています。

アイマスクを使いながら障害者の立場を体験して、参加者はちよつとした段差などに怖さや不便さを感じていたようです。このように皆さんからいただいたたくさんの方の意見を「安心して歩ける歩行空間」の実現のために、参考にしていきたいと思っています。参加してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112

「食といのちを考える」健康福祉フェアを開催

10月6日、生涯学習センターにおいて、「食といのちを考える」をテーマに健康福祉フェアが開催され、350人もの参加者で賑わいました。

内容は、県立新潟女子短期大学名誉教授本間伸夫さんをお迎えし、「郷土の食文化から健康な食生活を考える」と題した基調講演をはじめ、太極拳やジャズダンスの発表、「ずんだ餅」などの健康料理試食会を行いました。最後は子どもから大人まで健康体操で体を動かしてさわやかな汗をかきました。



「おさかな天国」 トーマスさん

9月から川口中学校を中心に外国語指導助手（ALT）として勤務しているトーマスさんが、10月2日、東川口保育園の園児たちから交流会に招かれました。

園児たちは、「グッドモーニング」「トーマスさんウエルカム」と、元気よくあいさつ。すぐに打ち解けると、手をつないだり抱きついたり、仲良く一緒に遊びました。

その後、「トーマスさん一緒に踊ろうよ！レッツダンス」という園児たちのリクエストに、お面をかぶって「おさかな天国」をみんなで一緒に踊りました。



川口小統合40周年「統合の灯」リレーを開催

10月19日、川口小学校統合40周年を記念して、旧和南津、旧川口、旧西川口小学校の跡地で採火した聖火を児童たちでリレーして町内を廻りました。



旧川口小学校跡地（中山みはらし前）から聖火を持ってスタートした古田島明美さん（6年）は、近所の方々の声援を受けて元気に中継地点まで走りまし



厚生労働大臣表彰を受賞 佐藤靖邦さん（川岸）

この度、川口診療所の佐藤靖邦先生が「国民健康保険功績者厚生労働大臣表彰」を受賞されました。これは、永年にわたり、国民健康保険事業に貢献した功績に対し表彰されたものです。



今年も大切に育てました！「泳ぐ芸術品」錦鯉品評会

10月20日相川サンウッドにおいて、川口町錦鯉品評会が開催され、計17点が出品されました。審査の結果は次のとおりです。

（敬称略）

全体総合優勝 増田正利（牛ヶ首）
最優秀賞 こだ養鯉場（牛ヶ首）
各部門賞

第18部
紅白 小林勇二（木沢）
三色 星野国樹（木沢）
光りもの 山長養鯉場（相川）
その他 増田正利（牛ヶ首）

第25部 こだ養鯉場（牛ヶ首）
第35部 こだ養鯉場（牛ヶ首）
第45部 星野寅吉（峠）
第55部 増田正利（牛ヶ首）
第65部 星野誠一（田中）
第65超部 こだ養鯉場（牛ヶ首）

各種大会結果

活躍された皆さんの成績をお知らせします。（敬称略）

北魚沼郡中学校新人大会結果

- ◆卓球女子 (10月2日 小出郷体育館)
 - 〈個人戦〉
 - 3位 平沢 春香
 - 3位 宮 早苗 (1年生の部)
- ◆男子ソフトテニス (10月3日 堀之内町月岡公園)
 - 男子団体戦 3位
- ◆女子ソフトテニス (10月3日 堀之内町月岡公園)
 - 女子団体戦 3位
 - 〈個人戦〉
 - 2位 森山 綾乃・内山恵理奈 組
- ◆陸上競技 (10月1日 十日町陸上競技場)
 - 〈1年生競技〉
 - 走り幅跳び 1位 関 裕子
 - 110ハードル 2位 阿部 千裕
 - 走高飛 1位 広井 佳祐

スポーツフェスティバル2002 グラウンドゴルフ大会

- (10月14日 キャンパス川口野球場)
- 〈男子の部〉
- 優勝 西川口B
- 準優勝 牛ヶ島地区ダンディーズC
- 3位 田麦山
- 〈女子団体の部〉
- 優勝 東部レディースI
- 準優勝 牛ヶ島地区館レディースA
- 3位 中山エンゼルス
- 〈男子個人の部〉
- 優勝 丸山 一行 (牛ヶ島)
- 準優勝 星野 弘 (東川口)
- 3位 江島 正行 (牛ヶ島)
- 〈女子個人の部〉
- 優勝 星野 照代 (東川口)
- 準優勝 阿部 恵子 (中山)
- 3位 丸山シゲ子 (牛ヶ島)

- 6年女子 古田島 明美 (川口)
- ◆1500m走
- 5年男子 渡辺 寛司 (泉水)
- 6年男子 江島 裕哉 (泉水)
- ◆走り幅跳び
- 5年男子 渡辺 寛司 (泉水)
- 5年女子 森山 靖菜 (田麦山)
- 6年男子 山田 大樹 (川口)
- 6年女子 上村クリスチーニ (川口)
- ◆走り高跳び
- 5年男子 渡辺 裕也 (田麦山)
- 5年女子 小見真理江 (田麦山)
- 6年男子 古田島和則 (川口)
- 6年女子 小西友里絵 (川口)
- ◆400mリレー
- 6年男子 川口小A
- 6年女子 川口小A

第39回町民ゲートボール大会

- (10月17日 すばーく川口)
- 優勝 田麦山Aチーム
- 準優勝 田麦山Bチーム
- 3位 和南津Aチーム
和南津Bチーム

第37回町内小学校親善運動会

- (9月26日 川口小学校)
- 1位のみ掲載
- ◆100m走
- 5年男子 佐藤 誠 (川口)
- 5年女子 森山 靖菜 (田麦山)
- 6年男子 横田 岳 (川口)
- 6年女子 佐藤 汐里 (田麦山)
- ◆80mハードル
- 5年男子 小林 竜斗 (泉水)
覚張 優 (川口)
- 5年女子 小見 真理江 (田麦山)
- 6年男子 関 祐夫 (川口)
- 6年女子 上村クリスチーニ (川口)
- ◆800m走
- 5年女子 関 奈々美 (川口)

川口地域バレーボール大会

- (10月6日 川口中学校)
- 〈一般の部〉
- 優勝 俳友会 (川口町)
- 準優勝 東小千谷スポーツ愛好会
- 3位 1or8 (小千谷市)
- 〈女子の部〉
- 優勝 東小千谷スポーツ愛好会
- 準優勝 川口町バレーボール愛好会
- 3位 Youth (川口町)

第18回町内親善少年野球大会

- (10月6日キャンパス川口)
- 優勝 若獅子
- 準優勝 西川口球友クラブ

交流体験館からのお知らせ～第3回クリスマスコンサート演奏者募集～

交流体験館「杜のかたらい」で日頃の練習の成果を発揮してみませんか？ドイツの名器ペヒシュタインピアノを弾く絶好の機会です。みなさんの参加をお待ちしております。

- ☆日時 12月1日(日) 14時～
- ☆会場 交流体験館「杜のかたらい」
- ☆対象 町内在住または在勤の方
- ☆曲目 ピアノ、管楽器によるクラシックを中心とした曲目

☆申し込み 交流体験館 ☎81-4404
※11月11日(月)までに演奏曲目をご連絡ください。



ふるさとの味は健康のもと ⑧

山の幸・川の幸・里の幸
かわぐちのごっつお

かぼちゃのいところ煮



かぼちゃ小豆は貯蔵しやすいので、いつでも作る事が出来ます。たん白質が豊富であるし、冬場の食べ物としても最適です。昔ば「かけ」の人に小豆は良いとされていました。

●材料 (4人分)

- かぼちゃ.....600g
- 小豆.....1カップ
- 砂糖.....2/3カップ
- みりん.....大さじ3
- 塩.....小さじ1/2
- しょうゆ.....大さじ1

●作り方

- ①小豆を1晩水にひたす。
- ②かぼちゃを3cmのくし形に切り、種とわたを除き、面取りをする。
- ③小豆を2回程にこぼし、親指と人差指でつまんでつぶれる程度に煮る。
- ④かぼちゃに③のゆであずきと調味料を入れ、中火で汁気がなくなるまで煮る。

○お問い合わせは次の食生活改善推進委員に
小林由美子さん (八郎場) ☎89-2882
丸山 フミさん (長 坂) ☎89-2561

21世紀は私たちが主役！ ⑤

自然の中で子育て楽しんでます



星野さんは、小千谷市津山出身。昨年6月に木沢出身の達男さんと結婚されて、今年7月から達男さんの実家である木沢に越してきました。

▼木沢に嫁いだ印象は？「結婚して1年くらい大島住宅に住んでいたのですが、子どもが産まれるのを機に旦那さんの実家に住むことにしました。木沢は自然がいっぱいだし、近所の人たちもみんな仲が良いし...小学校の子どもたちが道であいさつしてくれるのを見て、子育てにいい環境だなと思いました。」▼子育ては大変ですか？「2か月になる娘(風咲ちゃん)に家族みんなが振り回されていますね。でも、おじいちゃん、おばあちゃんが協力してくれるのでとても助かっています。」▼最後にメッセージを...「木沢に若いお嫁さんが増えて、子どもと同じ年くらいのお友だちがたくさん増えてほしいですね。」

短歌
庭木々に高く絡まり赤く咲くのうぜんかつらに暑さいやます
日盛りを避けて草取る朝の畑七時のチャイム聞きて帰れり

森山 みえ
佐藤 美智

星野 きの
佐藤 信
関 よし
三輪 京子
渡辺登子一
宮 ヨキ
藤田 節子
新宮 山紫

皆さんのページです。投稿をお待ちしています！
企画商工課 ☎89-3112

みんなの広場

会員募集

興奮と熱気をみんなで楽しもう！

「まつりを楽しむ会」結成しました

当町では、夏には「川口まつり」、冬には町民総参加をキャッチフレーズに地域活性化の一つとして「雪洞火ほたる祭」が大きな盛り上がりを見せてきています。しかし、「まつり」を自分ひとりでは思うように楽しめない、多くの人とワイワイ一緒に楽しいひとときを過ごすことができればいいだろうな...と思っている人がまだまだ多いのではないのでしょうか？

そこで私たちは一つの提案として「まつりを楽しむ会」を結成することにいたしました。「まつり」に参加している人の情熱や熱気が観ている人を興奮させる、そんな「まつり」本来の姿を目指して...

この会の結成にあたり、私たちの心意気にご賛同いただける方であれば、年齢、性別等は一切問いません。子どもから年配の方まで、気楽に入会してください。

こんな私たちですが、一緒に川口町の「まつり」を楽しみたい方は、左記の連絡先までお名前、電話番号をお聞かせください。今後の予定はこちらからご案内いたします。一緒に川口の「まつり」を楽しみましょう。(代表 網 金治 (川口6)、星野正美 (岩出原))

※連絡先 中林君枝 (なかわり容 店川口3) ☎89-2764 (8時~18時、時間厳守)

女性との出会いを求めて... 「春よ恋会」にはいませんか？

今年7月、自分たちの魅力を再発見し、ステキな女性との出会いを求め、町内の独身男性の有志が集まり「春よ恋会」をつくりました。

会では、自分たちの自己研修や交流イベントの企画など自主的な取り組みを進めており、現在会員は10名となっています。

独身のあなたも、この会に入会し一緒に活動してみませんか。

入会資格 町内在住の独身男性
連絡先 星野 伸一 (木沢)
TEL89-3403

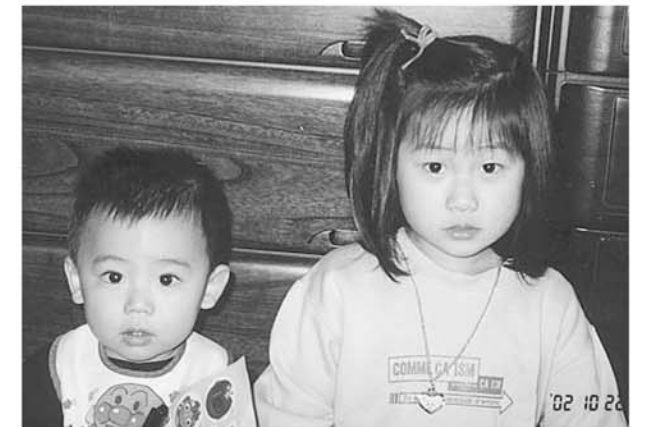
俳句

大内迪子先生選 老人クラブ俳句教室 (9月4日)

- 停年も無く老農の稲を刈る
 - 一叢の芒も解けて庭の景
 - 朝涼や村のはづれに山羊の声
 - 約束の子のまだ着かず秋の暮れ
 - 米作り止めはじめての秋迎ふ
 - 除草剤撒いても撒いても生える草
 - 夢の母浴衣姿におどりをり
 - みすずかる信濃の山に今日の月
 - 大根を蒔くにひたすら雨を待つ
 - 灯を消してよりの一人に虫時雨
 - 朝顔の竿の先まで登りつめ
 - 年一度会うてうれしき盆の客
 - 釣り好きな夫も入院この秋は
 - 簾ごし二人しずかな后後のお茶
- 覚張 次郎
村山むら女
丸山 好枝
丸山 トシ
上村たつお
星野千恵子
星野智恵子
鈴木 良仙
岡村佐和子
山田 久子
山田 チヨ
小西シゲノ
小宮山トキ
喜多村キヨ

元気です！かわぐちっこ ⑦

星野 優華 ちゃん (中山・3歳)
孝之さん 晃子さん



「おジャ魔女どれみ」が大好きで、変身したり歌ったりと毎日みんなを笑わせてくれる我が家のアイドルです。弟のたっくんと仲良く、元気に育ってね。(おかあさんより)